

1. 科目名 (単位数)	保育内容総論 (2単位)	3. 科目番号	SSOT2411
2. 授業担当教員	西脇 二葉		SCOT2411
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>保育者として保育内容を考える際、保育内容の5領域や子どもの活動に対する理解は重要である。しかし、子どもの実態に応じて保育を構想するためにはこれらの理解のみでは十分条件とはならない。これらに加えて、養護と教育が一体的に展開する保育、環境を通して行う保育、遊びによる総合的な保育といった一連の保育内容の展開に関する考え方への理解が深まることで、はじめて目の前の子どもの姿から具体的に保育を構想することが可能となる。本講義の目的はここにあり、子どもの姿から保育を構想していく際に必要な考え方を身につけることを目指す。</p>		
8. 学習目標	<p>学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園保育・教育要領に基づいた現代の保育の全体的な構造を理解し、説明できる。 2. 保育の歴史の変遷について学び、保育の基本及び保育内容について「保育の目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて説明できる。 3. 子どもの生活や遊びの総合性を理解し、保育内容を領域別に指導するのではなく、相互関連性等を踏まえた総合的な指導の在り方を理解する。特に、各領域が発達を捉える視点であることを具体的に説明することができる。 4. 子どもの発達の特性や発達過程を踏まえた観察や記録の観点を習得し、子ども理解を深める姿勢を身に付ける。 5. 多様な保育展開について学び、子どもの育ちに相応しい保育を構想することができる。 6. 現代社会における様々な保育課題を知り、常に保育者としての資質と専門性の向上に努める姿勢を身に付ける。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	授業時に小テスト2回実施・期末課題を提示する		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】『持続可能な社会をつくる日本の保育—乳幼児期におけるESD』富田久枝他、かもがわ出版。</p> <p>【参考書】『幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領』ひかりのくに</p>		
11. 成績評価の基準と評定の方法	<p>○成績評価の基準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業に対する参加態度 (授業に臨む姿勢、個別学習・グループ学習における課題への取り組み) は意欲的であったか。 2. 提出物の期日は順守できたか、取り組みの内容は十分なものであったか。 3. (試験) 授業を踏まえて学習目標に示された内容が定着していたか。(レポート) テーマに沿って分かりやすい表現・明瞭かつ論理的なレポートを作成できたか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業態度 50% 2. 提出物とその内容 20% 3. 期末試験もしくは期末レポート 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>以下のルールに従って受講すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎時提示する事前課題と事後課題を必ずやること。課題の締め切りは時間厳守とし、いかなる理由も認めない。 2. 私語は慎み、携帯電話の作動は厳禁とする。 3. 資料の再配布はしないので、各自で管理すること。 4. 保育内容総論用のファイルを準備して初回授業に臨むこと 		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	幼稚園教育要領、保育所保育指針に示された教育の基本をふまえた「保育内容総論」の意義	事前学習	学校教育の教育内容と保育所・幼稚園の保育内容の自分のイメージを整理しておく。
		事後学習	保育内容総論の意義をまとめる。
第2回	子どもの発達と保育内容—幼稚園教育要領、保育所保育指針における各領域のねらい、内容、指導上の留意点をふまえて—	事前学習	幼稚園教育要領の第2章の前文を読んでおく。
		事後学習	子どもの経験と学習の関係を復習する。
第3回	子ども理解・保育理解と保育内容(1) —子ども観と保育観の理解—	事前学習	子ども理解の意味を考える。
		事後学習	子ども観と保育観の意味を復習する。
第4回	子ども理解・保育理解と保育内容(2) —子ども観・保育観と保育内容—	事前学習	子ども観と保育観の関係を考察する。
		事後学習	子ども理解と保育内容の関係についてまとめる。

第5回	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領について(1) －保育所保育指針の理解、及び保育所における乳幼児の経験と発達に即した保育と、小学校の教科とのつながりを考える－	事前学習	保育所保育指針の第1章を読んでおく。
		事後学習	保育所保育指針を読み、保育内容の理解を深める。
第6回	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領について(2) －幼稚園教育要領の理解、及び幼稚園における幼児の経験と発達に即した保育と、小学校の教科とのつながりを考える－	事前学習	幼稚園教育要領の第1章を読んでおく。
		事後学習	幼稚園教育要領を読み、保育内容の理解を深める。
第7回	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領について(3) －認定こども園法・制度の理解と保育内容－	事前学習	幼保連携型認定こども園教育・保育要領第1章を読んでおく。
		事後学習	幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、保育内容の理解を深める。
第8回	情報化社会における保育の課題 －情報機器や教材について研究し、望ましい教材の活用法を習得する－	事前学習	情報化社会における子どもをとりまく状況を調べておく。
		事後学習	社会の状況が現代の子ども達や保育内容にどのように関係するかを復習する。
第9回	教育課程・保育の全体計画と指導計画、及び指導案の作成	事前学習	幼稚園教育要領・保育所保育指針に示されている教育課程・保育の全体計画の箇所を読んでおく。
		事後学習	指導案を立てる意味と実践するうえでの留意点を復習する。
第10回	模擬保育(乳児対象)と保育の評価	事前学習	乳児の発達について調べておく。模擬保育のシミュレーションをする。
		事後学習	模擬保育で学習した事柄をふまえて乳児対象の保育内容での留意点をまとめる。
第11回	模擬保育(幼児対象)と保育の評価(1) －保育者の子どもへの関わりを中心として－	事前学習	幼児の発達について調べておく。模擬保育のシミュレーションをする。
		事後学習	模擬保育で学習した事柄をふまえて幼児対象の保育内容での留意点をまとめる。
第12回	模擬保育(幼児対象)と保育の評価(2) －保育実践における環境の再構成を中心として、適切な教材を研究する－	事前学習	指導案作成上のポイントをまとめる。模擬保育のシミュレーションをする。
		事後学習	模擬保育で学習した事柄をふまえて、幼児対象の指導案作成と保育実践における環境の再構成についてまとめる。
第13回	保育内容の歴史的変遷	事前学習	明治以降の日本の歴史について調べてくる。
		事後学習	保育内容の歴史的変遷についてまとめる。
第14回	保育実践の動向と保育の多様な構想と展開	事前学習	教科書のコラムの箇所を読んでおく。
		事後学習	現代社会と多様な保育についてまとめる。
第15回	授業内容のまとめとポイントの検証	事前学習	授業で学んだことを振り返る。
		事後学習	授業で学んだことをもう一度振り返る。